北の螢（1984）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 125分
初公開日 1984/09/01

【解説】
北海道開拓時代の過酷な労働に従事した囚人たちとその上官、彼らを取り巻く女たちの愛憎劇。監督は五社英雄、脚本は高田宏治、撮影は森田富士郎がそれぞれ担当した。阿久悠がスーパーバイザーとして参加している。
明治16年、北海道開拓における道路建設のために囚人たちによる強制労働が行われており、石狩平野の樺戸集治監(刑務所)では、鬼の典獄と言われた月潟が采配を振るっていた。そこへ、ゆうという女が現れる。月潟は国の役人の視察の際に賄賂を送り、ゆうを慰みに遣わせた。その見返りとしてゆうが要求したことは、服役中の愛人・男鹿孝之進の赦免であった。男鹿は接見に来たゆうに、月潟を殺すように命じる。数日後、男鹿は刺客に襲われて重傷を負ってしまうのだが…。

【クレジット】

監督	五社英雄	
製作	高岩淡	
	佐藤雅夫	
プロデューサー	佐藤和之	
	厨子稔雄	
	遠藤武志	
脚本	高田宏治	
撮影	森田富士郎	
美術	西岡善信	
	山下謙爾	
編集	市田勇	
音楽	佐藤勝	
スーパーバイザー	阿久悠	
歌	森進一	
助監督	長岡鉦司	
出演	仲代達矢	Tatsuya Nakadai
	岩下志麻	
	夏木マリ	Mari Natsuki
	早乙女愛	
	佐藤浩市	
	丹波哲郎	Tetsuro Tamba
	露口茂	
	隆大介	
	成田三樹夫	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.